

第62回日本臨床視覚電気生理学会  
ランチョンセミナー 2

# 運・鈍・根の舞台裏

2014年10月4日(土) 12:10~13:10 両国 KFCホール  
東京都墨田区横網1-6-1(国際ファッショングセンタービル3F)



座長

篠田 啓先生

帝京大学医学部  
眼科学講座 教授

今回は先生にERG研究の旅を振り返っていただきます。三宅先生の行くところ必ず何かが起こります。挑戦、もぐろみ、失敗、驚き、興奮、日々に思いを巡らせていただき、主に表に出なかったエピソードについて、当時感じたことを思いつくままお話しいただけると伺っています。普段とは違った形で論文やレクチャーの裏に秘められた、先生の信念、哲学やリサーチマインドに触れられるかもしれません。皆様、肩の力を抜いて運・鈍・根の旅の随想録と一緒に楽しみましょう!



演者

三宅 養三先生

愛知医科大学 理事長

ご略歴

1967年	名古屋大学医学部 卒業
1968年	名古屋大学眼科学教室 入局
1976年~79年	Boston, Retina foundation 留学 (Senior research associate)
1986年	名古屋大学眼科 助教授
1997年	名古屋大学眼科 教授
2000年~04年	ISCEV 理事長
2005年	国立感覚器センター 所長
2007年	愛知淑徳大学医療福祉学部 教授 愛知淑徳大学病院 院長
2010年~現在	愛知医科大学 理事長

## ERG研究の秘話

退官間際までパソコンを使用しない時代に過ごしたため、自宅の部屋の片隅に膨大なスライド貯蔵箱がある。2000枚以上のスライドが廃棄されるのを待っている。そのスライドを見直してみると、現役時代の研究の思い出が鮮明によみがえってくる。発表する機会を失ったデータ、発表しても原著にしなかったもの、投稿したがrejectされ、そのまま日の目を見なかつたもの、研究の苦労が報われたもの、報われなかつたもの、等々いろいろあるが、同時にその結果に至った裏話も事欠かない。そのような裏話、あるいは秘話は、飲んだ席で幾度も口にしたことはあるものの、素面の席で講演したことなどない。しかし聴いて損をする話でもないと思い、今回は思いつくままにそのような秘話を語りたい。

「運・鈍・根」(銀海舎)で少しは触れた部分も含まれるが、もう少し生々しく語ってみたい。ご迷惑をかける向きもあるかもしれないがお許しいただきたい。

共 催

第62回日本臨床視覚電気生理学会  
興和株式会社  
株式会社トーメーコーポレーション  
有限会社メイヨー